

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

715

姉妹都市交流事業（高等学校）

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜き子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	1	国際化・情報化に対応した教育の推進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	高等学校費		
	目	学校管理費		
	大事業	高等学校管理事業		
中事業	姉妹都市交流事業（高等学校）			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	市立和歌山高等学校	竹内 伸之	341-3690
事業実施の根拠法令			関連課				

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要				
	生徒の国際化を図るため		和歌山市国際交流活動の一環である姉妹都市交流事業を通じて本校の生徒の国際化を図るための事業				
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
		海外姉妹都市であるカナダリッチモンド市の学生との交流	海外姉妹都市であるカナダリッチモンド市の学生との交流	海外姉妹都市であるカナダリッチモンド市の学生との交流	海外姉妹都市であるカナダリッチモンド市の学生との交流	海外姉妹都市であるカナダリッチモンド市の学生との交流	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	98	68	0	0	87	42	0	0	87	0
伸び率（%）	0%	0%	△100%	△100%	0%	0%	△100%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	2,014	2,014	0	0	1,629	621	621	0	621
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,014	2,014	0	0	1,629	621	621	0	621
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	98	68	0	0	87	42	0	0	87	0
所要人数 （人）	正規職員	0.25	0.25	0.00	0.00	0.21	0.08	0.08	0.00	0.08
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	食糧費58千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	海外姉妹都市であるカナダリッチモンド市の生徒と交流	回	目標値	1	0	1	0	1
			実績値	1	0	0		
			達成度(%)	100%	0%	0%	%	%
成果指標	外国人との交流により国際感覚を高める	回	目標値	1	0	1	0	1
			実績値	1	0	0		
			達成度(%)	100%	0%	0%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	訪問する生徒数と回数も適切と考えるので、この規模で続けることが妥当と考える。
見直し・改善内容	市立和歌山高等学校での滞在時間を増やし、生徒と触れ合えるイベント等を、企画し交流を高める工夫をしたい。